

# 市政刷新

【発行者】

福岡市議会議員 調崇史（自由民主党 福岡市議団）

# 正論を市政に! 福岡市議会議員(城南区) 調たかし

# 議會活動

# 地下鉄七隈線の混雑対策を

6月議会で、4期目の任期で初めてとなる一般質問に登壇しました。3月27日に博多駅まで延伸開業した七隈線については、利用者が増えたことによる車内の混雑で、お年寄りや体の不自由な方々が優先席を利用できていないなどの問題が生じていることを取り上げ、対応を求めました。

現在、七隈線は4両編成で運行されていますが、質問では仮に6両編成にした場合に必要な経費を尋ねたところ、市はホームの改修や車両の購入費などで、およそ250億円かかるとの試算を明らかにしました。このやり取りは翌日の読売新聞朝刊で紹介されました。

地下鉄の乗車マナーについては、七隈線の延

## ■ 路線バス減便への対応

延伸開業を前に西鉄バスがダイヤ改正を行いました。城南区では福大一中村大を結ぶ城南学園通りで、114番系統が140番に統合されました。114番系統は国体道路を通って天神に向かう路線。140番は護国神社先から城内・明治通りを経由する路線です。

この影響で、城南学園通り沿線から、護国神社から先の国体道路へと直接向かう路線がなくなってしまったのですが、こと金山団地に関しては、団地の中腹にあるバス停まで上がって

伸開業後の大変な課題になっています。車内では優先席付近のマナーとして、混雑時には携帯電話の電源を切るような呼びかけが繰り返し流れていますが、多くの人が手元の携帯電話を覗き込んだまま顔を上げないため、周囲の状況が見えません。

優先席であることがもっとわかりやすいように、シートや床などに新たな表示をすることをはじめ、早急な対応を強く求めました。

◆2023年6月23日 読売新聞朝刊

◆ 2023年6月23日 読売新聞朝刊

きてくれるバスが、1時間に1本程度になってしまいました

七隈線の延伸開業は、通勤・通学も含めた地域生活の利便性向上に資するものですが、個別具体的な生活の実情に照らすと悩ましいものもあります。福岡市には様々な事情を注視して、必要な沿線対策に取り組んでもらう必要があり、沿線地域の要望にしっかりとむきあうことを強く求めました。

## ■ 10年越しの提案が結実 ~生活交通の社会実験がスタート~

高齢者の割合が高い城南区で、運転免許証を返納しても日々の生活に困らないような交通システムの提案に、10年越しで取り組んできました。去る6月28日から、城南区の片江・七隈・金山・長尾校区をエリアとして、福岡市が実施する新たな交通システムの社会実験がスタートしました。



トヨタ自動車の系列であるアイシンと、第一交通グループが提供する「チョイソコ」サービスは、事業者と地域の協議であらかじめ決められた簡易な停留所に車両を呼び出して、目的地近くの停留所へと運んでもらう、タクシーと路線バスの中間のようなサービスです。

ぜひご利用を頂き、改善点などについてご意見をお寄せください。

## 4期目の当選～正論の旗を掲げて～

4月9日執行の福岡市議会議員選挙(城南区選挙区)において、6736票の信任を頂き、4期目の当選を果たしました。新しい任期では、これまでと変わらず子育て・教育分野を所管する教育こども委員会に所属するとともに、交通に関する重要施策を議論する「交通対策特別委員会」の委員長、福岡市総合計画審議会の委員や、こども子育て審議会の委員などを拝命しました。「正論を市政に」の旗印に恥じることがないよう、常に緊張感をもって福岡市の各種施策の決定に参画して参ります。



## 福博そらつく記 vol.15

### 営農と固定資産税

6月議会の一般質問で、農地にかかる固定資産税を取り上げました。市内の田んぼは、東区・早良区・西区などの農村地帯に見られるような「市街化調整区域」のものと、城南区などの住宅地に点在する「市街化区域」のものとの大きく分けて2種類があります。前者は7年間の平均で見たときに、固定資産税の算定基準となる評価額に変化はなかったのですが、市街化区域の農地は市内平均で評価額が1.12倍になり、固定資産税額も約1.2倍になりました。

あくまで平均の話ではありますが、市内の市街化区域にある1000平米の田んぼで年間に収穫できる米の値段が約11万7千円程度と試算できる一方で、同じ面積の田んぼにかかる固定資産税は年平均で14万4千円。市内の市街化区域の田んぼはこの7年間で約3分の1が姿を消しました。米を作れば赤字だというのでは、当然の結果と言うべきでしょうか…。

国は近年、食料安全保障という取り組みを打ち出して、農地の保全を訴えています。福岡市では農地が減れば固定資産税収入は増えるのですが、それがすなわち国家百年の計と合致するものであるとは言えないジレンマの中にあると感じます。私が育った城南区のまちは、農村風景と都市生活が同居していました。そんな景色を懐かしく、愛しく思うセンチメントは、たとえ金額に換算できないとしても大切にしたいものです。固定資産税には大いに改良の余地があると思っており、税制を司る国に対して、声を届けていきたいと思っています。

### 調 崇史 プロフィール

- 1978年 〇 4月17日 福岡市生まれ
- 1991年 〇 七隈小学校卒業
- 1994年 〇 梅林中学校卒業
- 1997年 〇 修猷館高校卒業
- 2002年 〇 九州大学法学部卒業
- 2002年 〇 T N C テレビ西日本入社
- 2010年 〇 同社退社
- 2011年 〇 福岡市議会議員 初当選
- 2023年 〇 現在4期目  
(保護司・消防団員・花みづき通り商店会会长)

44歳



### WEBサイトで情報発信中!!

調たかしの日々の活動の様子を紹介しています。また、オフィシャルサイトからは市政に対するご意見をお送りいただけます。ぜひ皆さまの声をお聞かせください!

調たかし



[www.t-shirabe.net/](http://www.t-shirabe.net/)

### 調たかし 事務所

ぜひ、お気軽にお立ち寄りください!

〒814-0133

福岡市城南区七隈7-5-27 ドミールハウス1F  
※市営地下鉄 七隈駅から徒歩約2分

[TEL] 092-834-9984

[FAX] 092-834-9983

mail:info@t-shirabe.net

